

県立笠間高等学校学校関係者評価表（平成 27 年度）

評価項目	評価	評価者からの意見等
1 本年度重点目標の達成状況についての自己評価は妥当か。	A 妥当である …… 3 B おおむね妥当である …… 1 C あまり妥当でない …… 0 D 妥当でない …… 0	○ C評価がないことから、目標は概ね達成していると考えられるが、今後はA評価が増えることを期待する。 ○ 学校の教育活動についての積極的な情報発信及び広報活動によって、笠間高校が頑張っている様子がよく分かる。 ○ 発達障害傾向をはじめとする多様な生徒及びその保護者に対するしっかりとした対応とその成果が認められる。
2 学校の具体的目標及び具体的方策の達成状況についての自己評価は妥当か。	A 妥当である …… 3 B おおむね妥当である …… 1 C あまり妥当でない …… 0 D 妥当でない …… 0	○ 達成状況にB評価が多いのが気がかりであるが、現在は、学校が良い方向に進んでいく際の伸び悩みの時期だと判断したい。 ○ 各教科の自己評価では、「分かりやすい授業」、「基礎学力の定着」、「授業の工夫」に関わる基本的な項目においてA評価が多いことから、着実な地盤固めがなされているものと考えられる。 ○ 学外活動における生徒の活躍が、A評価の項目につながっているものと考えられる。
3 学校は次年度への主な課題を把握しているか。	A 十分把握している …… 3 B おおむね把握している …… 1 C あまり把握していない …… 0 D 把握していない …… 0	○ 各教科とも、次年度に向けた具体的な課題が示されていることから、次年度への期待が高まる思いである。 ○ 生徒や保護者へのアンケートを受け止めた形での次年度の課題設定がされていると感じる。 ○ 進路指導に関する項目では、実際の実績に比べやや控えめな評価と課題設定がなされているように感じる。
4 学校の改善方策への対応は適切か。	A 適切である …… 3 B おおむね適切である …… 1 C あまり適切でない …… 0 D 適切でない …… 0	○ 進学指導及び就職指導についてはよい方向に進んでいると感じる。特に、メディア芸術科 1 期生の進路実績は成功と言えるのではないかな。 ○ 生徒指導上、特別指導を受ける生徒については今後も注意を要するとしても、指導件数の減少はすばらしいと感じる。 ○ アンケート結果を次年度以降の学校運営に生かしていくためには、より一層の中高の連携を模索していく必要があるだろう。 ○ 家庭での課題を抱える生徒が多く在籍していることから、今後は、家庭及び関係機関とのさらなる連携が求められるであろう。

別紙様式3（高）

5 その他 学校の雰囲気は落ち着いているか。活力がみられるか。	A 落ち着き，活力ともしっかりみられる …… 2 B どちらもおおむねみられる …… 2 C 落ち着きはみられるが活力はみられない …… 0 D どちらもみられない …… 0	○ 進路や学外活動における実績及び授業に臨む生徒の様子などからは，学校のよい雰囲気を感じ取ることができた。 ○ 数年前に比べ，生徒の落ち着きや学習活動への力の入れ方において隔世の感がある。 ○ 美術科の頑張りが今年の志願者の増加につながっているのではないかと考える。 ○ 今年メディア芸術科が最初の卒業生をだすことになるが，進路面でも大きな成果があがっており，メディア芸術科開設時の不安を考えると感無量である。 ○ 家庭の経済状況が生徒の落ち着きの無さや余裕の無さにつながることが多いことから，「朝の読書」などの指導はとても有効である。
---	---	---